

カレッジだより

今井学長ご逝去



シルバーカレッジ創立以来、学長を20年余り務めた今井鎮雄学長が2014年11月3日、神戸市内の病院で逝去されました。93歳。お別れの会は2月8日、ポートピアホテルで行われる予定です。

今井氏は1920年東京生まれ。同志社大学を卒業後、灘購買組合(現コープこうべ)に勤務、1948年、神戸YMCAに転じ、1963年から21年間、総主事を務めました。1993年、シルバーカレッジ学長に就任。その直後に阪神淡路大震災が発生。しあわせの村が救援基地となり、カレッジの学生らも被災者をほっておかず、自然発生的に獅子奮迅のボランティア活動を繰り広げました。このころ、「再び学んで他のために」の建学精神が培われたといえます。今井氏はこのほか、兵庫県教育委員、頌栄短大学長、神戸市社会福祉協議会理事長などを務め、幅広く社会福祉、青少年教育に尽力されました。＝写真は25年10月9日、開校20周年記念シンポジウムで講演する今井学長

カレッジをこよなく愛した先生

今井氏に縁の深い〈わ〉の関係者に「偲ぶことば」をいただきました。

渡辺由和(元KSC総務課長) 私が今井先生にお仕えたのは、震災復旧・復興事業に挫折し、心も体も疲弊しきってKSCに着任した、1995年10月から2年半という短い期間でしたが、何時も何かと気遣っていただき、優しい言葉で励ましてくださいましたね。先生とお会いしていなかったら、その後の私の人生は目標もなくなただ生き永らえる惨めなものになっていたことでしょう。

私達は、先生の凛とした慈愛あふれるお姿と熱い志を、そして神戸市に賜った大きなご功績を決して忘れることはないでしょう。安らかにお眠りください。とても辛いですがお別れです。いつか、きっとお会いできることを信じて…。

飯井冴子(元KSC事務局、〈わ〉本部事務職員) 地上での歩みを終え、主のみもとへ旅立たれた今井鎮雄学長に、心から哀悼の意を表します。

シルバーカレッジをこよなく愛し、グループわ設立をなによりも喜んで下さった先生。グループわの活動報告を、いつも満足そうに、しっかりと聞いて

くださいました。『東灘の自宅から三宮まで歩いてるんだよ』と、背広姿にスニーカーの足元を指さされていた先生の笑顔が忘れられません。

お別れ式の時、穏やかに眠っていらしゃった先生は、ブルーのスーツにピンクのネクタイ姿で、とても素敵でした。長い間ほんとうにありがとうございました。

芳賀順子(福10) 今井鎮雄先生の「再び学んで他の為に」はKSCのOB・在校生にとって大切な教えです。その精神に従って奉仕する「グループわ」の諸活動は地域振興・災害支援・子育て支援など広く神戸市民活動の源となっています。

私は現在「賀川豊彦の語り部」をしています、その切っ掛けを与えて下さったのが今井先生です。KSC15周年記念講演会の司会をさせて頂いた後、「賀川豊彦の語り部募集」があり、今井先生に応募しないかとお誘いを受けました。私に出来るかどうか、不安で一杯でしたが、先年亡くなった郷肥三元理事長、横井幸雄さん(福11期)らと共に研鑽を積み、私なりの語り部をしています。賀川豊彦世界雲水遍路訪問先・年譜をまとめたり、賀川豊彦の伝記を書いたロバート・シェルジェン氏来日(2012年)のお手伝い、村岡花子・賀川ハル展(2014年)の開催などに打ち込み、私のライフワークは豊かなものとなっております。豊かな隣人愛の持ち主今井鎮雄先生を偲びその業績に敬意を表し追悼の言葉とします。

カレッジ副学長に服部氏

シルバーカレッジの副学長に2014年10月1日



付で頌栄保育学院院長・頌栄短期大学学長の服部祥子氏が就任しました。服部氏は大阪生まれ、岡山大学医学部卒業、大阪大学医学部精神神経科入局、大阪府立公衆衛生研究所

児童精神衛生課長、大阪府立看護大学教授、大阪人間科学大学教授を経て現在、頌栄保育学院院長・頌栄短期大学学長を務めておられます。このほか、中央教育審議会専門委員、教育課程審議会委員。

服部副学長の挨拶で「私もシルバーエイジ真只中にあり、これから皆さま方とともに元気に歩いて行かれますことを心躍らせつつ楽しみにしています。どうぞよろしく願いいたします」と抱負を語っておられます。